

平成23年度
「中小企業経営診断シンポジウム」を開催
439名がシンポジウムに参加！

当協会では、平成23年11月9日(水)に、東京ガーデンパレス（東京都文京区）におきまして、平成23年度「中小企業経営診断シンポジウム」を開催しました。今回のシンポジウムの統一テーマは「経営革新実現への第一歩とは～企業の躍進をサポートする中小企業診断士～」で、シンポジウム当日は、当協会会員、来賓、行政支援機関関係者、一般の方など439名の方々にご参加をいただきました。

午前の第1部は、午前10時30分に開会して、福田尚好・当協会会長の開催挨拶の後、徳増有治・中小企業庁経営支援部長より、来賓挨拶を頂戴しました。

その後、10時40分～11時50分の70分間にわたって、未来工業株式会社代表取締役社長である瀧川克弘様による「『社員が主役』の経営」と題した基調講演が行われました。講演のなかで瀧川様は、社員のやる気を引き出すことなどにより、経営の活性化を図ることによる現在の同社の成功に関して、熱く語っていただきました。



福田尚好・当協会会長



徳増有治・中小企業庁経営支援部長



瀧川克弘・未来工業株式会社代表取締役社長

午後の第2部は、13時より3つの会場にわかれて、次の催しが開催されました。

○第1分科会

「中小企業診断士による経営革新支援事例論文発表」

○第2分科会

診断協会各支部および会員グループによる調査・研究／「東日本大震災復興支援活動—中小企業診断士の役割」発表

○第3分科会

「東京支部による研究会成果発表」

また、同時時間帯には、「無料経営相談会」も開催し、相談員を務めた東京支部会員が、4社からの資金調達などに関する相談に対応しました。

さらに、17時から「表彰式」が開催され、川井正夫・当協会副会長の開会挨拶後、水元明則・当協会専務理事が第1分科会の審査結果の発表を行い、次に大江 宏・審査委員長からは第1分科会の発表論文に関する「審査委員長講評」が行われました。

その後、第1分科会・第2分科会の順で発表者に表彰状が授与され、続いて第3分科会の審査結果の発表と表彰状の授与が、小出康之・東京支部長より行われました。

なお、第1分科会～第3分科会の各賞の受賞者は、次のとおりです。

【第1分科会】

○中小企業庁長官賞

「中小企業IT経営革新阻害要因5つのギャップ解消のための提言」

小林 勇治（東京支部）

○日刊工業新聞社賞

「障がい者授産施設の元気化事例～プロジェクト

ト推進による工賃向上の実現」

山本 哲史（東京支部・山口県支部）

○日本経営診断学会会長賞

学習組織体制構築による顧客維持型マーケティング戦略

山本 久美（愛媛県支部）

○中小企業診断協会会長賞

経営革新の実現を可能とした創造性とローコストオペレーション

青柳 敦子（茨城県支部）

【第2分科会】

○中小企業診断協会会長賞（4編）

・アセアン・中小企業診断標準マニュアルの作成

河越 丈雄（東京支部）

・平成22年度「調査・研究事業」販路開拓ビジネスモデルの策定

伊藤 勝彦（山口県支部）

・平成22年度「調査・研究事業」農業経営診断実践マニュアルに関する調査研究

村上 一幸（東京支部）

・中小製造業の活性化診断・支援マニュアルの研究・開発～中小製造業活性化診断・支援ツールの開発を目指して～

流王 明美（静岡県支部）

【第3分科会】

○東京支部長賞

塗装業より環境企業への業態転換の成功事例

京盛 真信（東京支部知的資産経営研究会）

「表彰式」終了後には、17時30分より「懇親会」

が開催され、論文発表者をはじめ当協会関係者らが歓談をされました。



徳増・経営支援部長，大江審査委員長，福田・当協会会長，小出・東京支部長と表彰者の方々